

# 越中一宮

高瀬神社社報

第8号

平成18年1月1日

越中一宮高瀬神社

<http://www.takase.or.jp/>

撮影:南部写真館 南部 栄氏





明けましておめでとうござい  
ます。

新しい年をお迎えになり、そ  
れぞれに夢や希望を胸に平成十  
八年の第一歩を踏み出されたこ  
とも思います。皆様の願い事が  
かなう良き年となりますようお  
祈り申し上げます。

「人間は考える葦である。」と  
或る哲学者は言いました。確か  
に人間は素晴らしい考え方をす  
る事もあれば、また逆に人間に  
あるまじき考え方しか出来ない  
事もあります。考えることは誰  
しも出来ることですが、考えた  
ことを実行に移すということは  
簡単なことではありません。実  
行する前に、まず自分の考えた  
ことが良いことか悪いことか、  
常識か非常識かなどと今一度理  
性的に且つ冷静に判断すること  
が大事なことでないかと思  
います。

平成十七年という年は「自己  
中心」「自分勝手」という言葉  
がまかり通った年であったよう  
に思います。小さな子どもが何  
人も尊い命を奪われました。また、  
建造物の強度偽装事件など枚挙  
に暇がないほどの事件事故があ  
りました。罪を犯した犯人等は  
理由にもならない身勝手な自白  
をして自分の言動を正当化しよ  
うとしています。正に世も末と  
いう観が致します。

これらの犯罪者等は、理性と  
か冷静さに基づく判断力や思考  
力を持ち合わせていなかったの  
かもしれませぬ。また、持ち合  
わせていたとしてもその能力を  
百パーセント生かすことが出来  
なかつた人かもしれませぬ。  
とかく自分さえ良ければそれ  
で良いという考え方の人間が増  
えてきた結果、恐ろしい世の中  
になってしまいました。充分に

分別のある人間を育てることが  
急務であります。それは理想  
であり、実行不可能なことかも  
しれませぬ。しかし、われわれ  
日本人一人一人がこのことに素  
早く対処しないと益々恐ろしい  
大変な社会になることでしょう。

平成十八年は十七年より素晴  
らしい年であってほしい、心豊  
かな人々が助け合いながら生活  
できる年であってほしいと思  
います。そのためには「世のため  
人のため」になる考え方を  
自分の考え方は偏つてないか理  
性的に、且つ冷静に判断する。  
また、自分の言動を正当化する  
のではなく、他人の話の聞いたり、  
反省したりしているうちに自然  
と自分の言動に正当性が付随し  
てくる。このことが大切なのです。  
神々に生かされているという感  
謝の気持ち忘れず、お陰さま  
でという謙虚な姿勢で生活する  
ことが豊かな社会をつくること  
になると思います。

新しい年は人心を一新して事  
件や事故の無い素晴らしい国「日  
本」の再生を夢見たいものです。  
そして、その実現のため微力な  
がら努力するつもりであります。

謹賀新年

平成十八(丙戌)年  
皇紀二六六六年

宮司 藤井 秀弘

権宮司 藤井 秀嗣

禰 宜 齊藤 直己

全 河合 正登

権禰宜 浦 泰宏

巫女 玉井 千里

全 杉本 絵里香

全 南部 有希

事務員 黒田 三津子

囃 託 岩倉 友子





# 『新年のご挨拶』

## 奉賛会長 西田 東作

明けましておめでとうござい  
ます。

昨年は藤井秀弘宮司さんが神職特級に昇進され、更に神社本庁より特別表彰をお受けになるという二重の榮譽を戴かれて私達氏子一同にとりましては此の上ない喜びでございました。心から皆さんと共に御祝い申し上げます。

また、昨年から第六十二回の御遷宮の準備が始まり、平成二十五年の式年遷宮の為の用材を伐りだす御杣山始祭が六月三日に木曾山中で行われ、私も宮司さんと一緒に参加させて頂きました。平成五年の御遷宮は総工費三百二十億円だったのですが、此の度の費用は五百億円以上だそうです。戦前は総て国家の費

用でしたが戦後は神宮の自己資金と全国民の浄財によって賄われて居ります。毎年頒布される伊勢神宮の御神札が一番大きな財源です。その御神札の頒布率が富山県が全国一番を続けていると聞いて、将になんと素晴らしい富山県人であるかと驚くと同時に、富山県神社庁長でもある藤井宮司さん以下県内の神職さん方々の並々ならぬご努力の成果であると敬服致しました。

私共は心から感謝を捧げねばなりません。

森前総理は日本は神の国であるとして全国神職の集った会合で挨拶されましたが、これを新聞記者がこぞって批判して全国でマスコミが大きな騒ぎになると云う事件がありました。

私は今でも森総理は本当の事をいわれたのであって間違っているのは日本の一部マスコミであると思います。戦後、米国の戦略で日本古来の大切な国家観や神社をはじめ伝統的精神文化を否定する思想は現在既に独立国となった我が国としては、一日も早く憲法を改正して本来の国の姿に復帰させる時が来ていると思います。万世一系の天皇を戴き、天皇を中心にして発展して来た日本民族（大和民族）は世界中何処にも無い唯一一つの素晴らしい国民であると私は信じて居ります。靖国神社の問題にしても小泉総理が参拝するのは当たり前で、一部のマスコミや中国、韓国という間違った歴史の事実をしつかり皆さんに知って戴きたいと思えます。

新しい年は、日本人が日本人らしく生活できるよう努力する年にしたいものです。氏子崇敬者各位の益々の多幸ご健勝をお祈りし、年頭のご挨拶と致します。

# 祭事暦

一月 一日	歳旦祭
一月 三日	元始祭
一月 二十五日	天神祭
二月 三日	節分祭
二月 十一日	紀元節祭
二月 十七日	祈年祭
三月 八日	鎮火祭
三月 二十日	春季皇霊祭
四月 三日	神武天皇祭
四月 十日	春季祭
六月 十日	祈年穀祭
六月 十九日	風宮例祭
六月 三十日	夏越大祓
七月 吉日	稲荷社例祭
七月 二十日	人形感謝祭
八月 十六日	除熱祭
九月 十三日	中禮祭
九月 二十三日	例祭
十月 吉日	秋季皇霊祭
十月 十七日	献茶祭
十一月 三日	神嘗祭当日祭
十一月 十三日	明治節祭
十一月 十五日	神明宮例祭
十一月 二十三日	七五三祝祭
十二月 二十三日	新嘗祭
十二月 三十一日	天長節祭
	師走大祓
	除夜祭

◎毎月一日・十三日 月次祭  
◎毎月十三日 交通安全祈願祭

### 例祭

九月十三日午前十時より氏子・崇敬者多数参列のもと例祭が斎行されました。

祭典終了後、日頃から神社のことにご尽力いただいているお二人に宮司より感謝状が授与されました。

また、ひきつづき功霊殿例祭も斎行され、遺族会一二〇名参列のもと、御英霊に感謝の誠心を捧げました。

(感謝状授与)

川上 光泉氏 (砺波市)  
梅崎 親美氏 (砺波市)



### 献茶式

十月十日午前十一時より高瀬神社献茶奉賛会主催の「第三十二回献茶式」が斎行されました。

祭典では宮司の祝詞奏上につづき、同会副会長である西尾金満氏のお点前により、御神前に濃茶・薄茶がお供えされました。

また斎館と参集殿では茶席が設けられ、本席を古儀茶道藪内流吉村知子社中が、副席を古儀茶道藪内流福嶋慶子社中がそれぞれ担当されました。終日大勢の愛好家で賑わいました。



### 新嘗祭

十一月二十三日午前十時より「新嘗祭」が斎行されました。

砺波地区農業協同組合協議会の佐野俊之会長(いなば農業協同組合長)が奉幣使を務め、井波地域中核農業士協議会(金田久志会長)により、献穀田で収穫された「コシヒカリ」が御神前に供えられ、今年の豊作に感謝の誠を捧げました。

また、篤農家には表彰状、献穀田奉耕者には感謝状が贈られました。

(篤農家表彰)

山下 豊作氏 (南砺市)  
古島 重氏夫 (南砺市)  
(感謝状授与)  
岩倉 和弘氏 (南砺市)



### 迎春

#### 株式会社ゴールドウイン

代表取締役会長 西田 東作

#### セندگان電子(株)

代表取締役会長 武田 修

代表取締役社長 武田 武美

砺波市庄川町五ヶ四四〇

TEL(〇七六三) 八二一五一三〇

#### 祝儀料理 福光屋

鮮魚・仕出し

南砺市山見一七二〇

TEL(〇七六三) 八二一五〇八二(アスマエ店)  
八二一〇七〇六(在出し部)

#### 越中一宮高瀬神社指定

#### 南部スタジオ

宝石・記念品

#### あづちや

南砺市本町三十四八

TEL(〇七六三) 八二一〇三六六



# 剣道大会

九月十八日、「第四十三回奉納剣道大会」が開催されました。

拝殿での奉告祭につづき、向拝において前年度優勝校井波中学校の代表選手二名により日本剣道形が奉納され、境内各試合場においては団体・個人のトーナメント戦が行われました。

初秋の晴天のもと仲間や家族から熱い声援が送られました。尚、試合結果は次の通りです。  
(敬称略)

## 《団体の部》

### ▽小学生男・女

#### ①井波町

剣道スポーツ少年団

#### ②B & G 砺波

剣道スポーツ少年団

### ▽中学生男子

#### ①福野中学校

#### ②井波中学校

#### ③庄川中学校

### ▽中学生女子

#### ①庄川中学校

#### ②福野中学校

## 《個人の部》

### ▽小学生男子

#### ①篠原 天馬 (井波)

#### ②松田 尚之 (井波)

#### ③洲崎 貴史 (井波)

#### ③柴田 大地 (砺波)

### ▽小学生女子

#### ①山本麻紗子 (井波)

#### ②山田千菜都 (井波)

#### ③松山 佳苗 (庄川)

#### ③澤田 朱音 (砺波)

### ▽中学生男子

#### ①中村 法貴 (井波)

#### ②堅田 勇気 (福野)

#### ③金谷 康史 (津沢)

#### ③棚田 直樹 (庄川)

### ▽中学生女子

#### ①河井 美玖 (庄川)

#### ②松山 香織 (庄川)

#### ③坂田 魅華 (津沢)

#### ③川北 友貴 (吉江)

### ▽高校生男子

#### ①林 靖高 (福野)

#### ②山本 智大 (砺波)

#### ③中西 優 (福岡)

#### ③石黒 泰大 (福野)

### ▽高校生女子

#### ①伊東あゆみ (福野)

#### ②富田 夕貴 (井波)

#### ③沖田紫都香 (井波)

#### ③藤井 美春 (福野)



迎春

婚礼着付

## ノビアデサロンみたに

南砺市北川一八五二

TEL (0763) 8110433

http://www.salon-mitani.or.jp

総御所落雁本舗

## 河内屋菓子舗

南砺市本町一の三四

TEL (0763) 8110402

ブライダルサロン

## アマノ

高岡市大手町二一八(定塚町通り)  
TEL (0766) 2414124

## (株)林クリーニング

代表取締役 林 晴夫

南砺市本町三丁目一四番地  
TEL (0763) 8110289

全国にあなたの花をお届けします

花キューピット

## ミナミフラワーショップ

〒710 南砺市本町三丁目一四番地  
TEL (0763) 8116388

FAX (0763) 8116388

### こども神輿



十月一日「村祭り」が斎行され、午後二時より「こども神輿」が氏子地域を巡行しました。  
外拝殿でお祓いをうけた子供たち三十名がワッショイ、ワッショイと元気を掛け声で神輿の網を曳きました。  
町内七箇所のお旅所では敷地が祓い清められ、森田松夫高瀬区長にあわせ拝礼し、地域の更なる安全を祈念しました。

### 献穀田だより

#### ● 抜穂祭斎行

九月十二日、井波地域中核農業士協議会による「抜穂祭」が六十名の関係者が参集し、南砺市高瀬の献穀田で斎行されました。



本年度奉耕者の岩倉和弘氏の水田に植えられた「コシヒカリ」の苗が豊かに実りました。  
五名の早乙女（竹田はるかさん、柴田早織さん、藤井有希さん、竹田絵美さん、武田真理子さん）により刈り取られた稲が、金田久志会長に手渡され、十一月二十三日の新嘗祭で御神前にお供えされました。

#### ● 初穂曳奉仕



十月十五日・十六日の両日にかけて、「第三十三回初穂曳」が伊勢の神宮で行われ、献穀田奉耕者の岩倉和弘・香こ夫妻、浦権禰宜の三名が「一日神領民」として参加しました。

初日は、雨模様のおいにくの天候ではありましたが、「木遣り」の威勢のいい掛け声にあわせ大荷車を曳き、外宮に到着。献穀田で収穫した「コシヒカリ」の稲束を五丈殿に納め、神恩感謝と五穀豊穡をお祈りしました。

### 迎春

#### 田島のし店

砺波市本町七十一四  
TEL(〇七六三)三三一二五二〇

#### 菓子工房 大樹

砺波市宮丸一三二一  
TEL(〇七六三)三三一三九六六

#### 創造発案カンパニー ピールールプランニング

小矢部市下中一三七  
TEL(〇七六六)六七二八六七(代)  
FAX(〇七六六)六八一六七七

#### 看板とイベント・宣伝の

#### オーバル

砺波市庄川町金屋一三〇五  
TEL(〇七六三)八二四二二三二

#### チュールリップ交通株

〇二〇一六九五〇七  
本社八丁一六九 砺波営業所二四一三三  
貸切会館八二一八八 旅行部八二七一

# 参 拜 日 誌 抄

(敬称略)

(平成十七年九月～十一月)

## 「九月」

- 二日 明治神宮権宮司 中島精太郎
- 五日 功靈殿奉斎会役員会
- 七日 明治神宮崇敬会参拝旅行第三团
- 八日 明治神宮崇敬会参拝旅行第四团
- 十日 井波・福野地区遺族会
- 十一日 明治神宮崇敬会参拝旅行第五团
- 十二日 氏子清掃奉仕(村絵出)
- 十三日 日枝神社宮司 平尾旨明
- 十五日 明治神宮崇敬会参拝旅行第六团
- 十八日 明治神宮崇敬会参拝旅行第七团
- 奉納剣道大会(奉告祭)

二十一日

井波地区交通安全協会

(秋の交通安全祈願祭)

明治神宮崇敬会参拝旅行第八团

二十八日

真清田神社神輿会四十二名

## 「十月」

三日

佐久良太神社四十二名

十三日

立正佼成会(清掃奉仕)

十九日

近江神宮敬神婦人会三十七名

二十七日

神社庁東西砺波支部

(神宮大麻頒布始奉生忌)

## 「十一月」

二十一日

神社新報社 岩佐弘史

## ご結婚おめでとうございます

平成十七年九月から十一月まで御婚禮の御儀を執り行われた皆様です。(挙式日、時間順)

(九月)

四日

稲葉 潤一様  
恵美子様

十九日

山橋 正文様  
順子様

(十月)

一日

小谷 晃一様  
亜希様

二日

澤田 弘樹様  
美由紀様

八日

沼田 純一様  
亜由様

九日

今井 剛夫様  
紀子様

二三日

山田 彰様  
昭子様

九日

藤田 光伸様  
麻希子様

二三日

水上 博史様  
恵様

二十九日

中谷 豊様  
紀美子様

二日

吉田 康人様  
敦子様

三日

坂東 聡様  
友紀様

五日

高瀬 敏一様  
友紀様

六日

吉永 修一様  
雅美様

十三日

宮脇 亮様  
郁奈子様

十九日

井上 泰道様  
茜様

二七日

荒井 航一様  
麻衣子様

二七日

島崎 雅司様  
知子様

二七日

平井 健司様  
恵美子様

ご新郎ご新婦の末永いご多幸とご両家益々のご繁栄をお祈り申し上げます。



御案内

「元服祝」(男子)

十五歳(平成四年生)

元服とは、一人前の男性として重要な責任と義務を負い、社会の仲間入りを果たす年齢を意味します。強い身体と精神力を持った「益荒男」として雄々しく男らしく成長してほしいと祈る人生儀礼です。

「髪上祝」(女子)

十三歳(平成六年生)

髪上とは、古来、神社へ詣で初めて「かんざし」を髪にあてる儀式をいいました。

「大和撫子」と日本女性を称えてきた言葉が示すように、心清らかで勇氣・機転・情愛を持ちあわせた大人の女性に成長してほしいと祈る人生儀礼です。

※神社へお申込み下さい。



戌の日(安産祈願)

1月9日・21日	7月8日・20日
2月2日・14日・26日	8月1日・13日・25日
3月10日・22日	9月6日・18日・30日
4月3日・15日・27日	10月12日・24日
5月9日・21日	11月5日・17日・29日
6月2日・14日・26日	12月11日・23日

「奉納」

○菊花鉢

砺波市庄川町青島

島田洋一

平成十七年十一月一日

砺波市庄川町金屋

西野孝進

平成十七年十一月一日

平成18年 厄年

本年は次の通りです。

(男性)

- 25歳 前厄(昭和58年生) 本厄(昭和57年生) 後厄(昭和56年生)
- 42歳 前厄(昭和41年生) 本厄(昭和40年生) 後厄(昭和39年生)

(女性)

- 19歳 前厄(昭和64年生) 本厄(平成元年生) 後厄(昭和62年生)
- 33歳 前厄(昭和50年生) 本厄(昭和49年生) 後厄(昭和48年生)

授与品の案内

「旅行安全守」初穂料 八〇〇円



「千支土鈴」初穂料 一〇〇〇円

初穂料 一〇〇〇円



「千支絵馬」初穂料 五〇〇円



編集後記

○新年明けましておめでとうございませう。年末に、思わぬ大雪に見舞われ、暖冬で雪に慣れない生活に一つの「濁」が入ったように感じました。昨年を省みますと子供たちに関する話題が多くあったように思います。「人生儀礼」に関しまして、七五三詣より厄年までのあいだに、神社で御祈禱を受ける機会がないように感じます。「元服祝・髪上祝」を行うことにより家族揃って神社に詣で、多感な少年期を、心豊かに過ごすことが、これからの社会で大切なことではないでしょうか。本年も皆様にとりまして、より豊かな年になりますよう御祈念申し上げます。